

倫理ヘルプラインについて

倫理ヘルプラインとは

倫理ヘルプラインは、i-Sight が開発した機密扱いの総合通報ツールであり、懸念の通報やコンプライアンス等調査の案件管理を支援するものです。

倫理ヘルプラインのような内部通報制度の整備が必要な理由

• 当社の従業員、および当社の誠実性の評判が、ノキアにとって特に重要な資産であると当社は考えています。コミュニケーションや懸念通報のための開かれた経路を設置し、通報しやすい環境を整備することにより、当社は、誠実性の文化と良好な労働環境を推進することが可能となります。• 株式公開企業は、一般的に、コンプライアンスの懸念のうち特に会計や監査の不正に関する懸念を特定するために、法律により、匿名の通報経路を設けるよう規定されています。• 有効な通報制度があることで、誠実性と倫理的意識決定の文化を醸成する他の当社の取り組みについても、強化されることとなります。

通報 – 一般

インターネットまたは電話のいずれかを使って通報することはできますか？

はい、できます。倫理ヘルプラインでは、電話またはインターネットのいずれかを通じて匿名で通報することができます(秘密厳守)。

どのような状況を通報すべきですか？

倫理ヘルプラインは、当社の行動規範、方針、標準業務手続(SOP)の違反や、その他生じた懸念や必要とする指針について、従業員が相談・通報できるように設計されています。

違反に気付いた場合、上司や警備または人事組織に通報して、対応を任せるべきではないのでしょうか？

当社の行動規範に違反していると思われる行動を見かけた場合には、その旨を通報する必要があります。理想としては、直属の上司またはその他の当社経営管理陣メンバーまで懸念を提起すべきです。ただし、そのような方法では問題を通報しにくいと感じる状況があり得ることも当社は認識しています。当社が i-Sight に委託したのは、まさにそうした状況のためです。懸念があれば情報を秘匿しておくよりも通報していただきたいと当社は考えています。倫理ヘルプラインでは、匿名で懸念を通報することができます。

知り得た出来事を通報すべきなのはなぜですか？それは私にとってどのようなメリットがありますか？

倫理やコンプライアンスの問題の可能性に関して懸念を通報することは、正しい行いであるだけでなく、当社の行動規範によっても規定されています。率直に話すことで、倫理的企業としてのノキアの評判を保護することにもなります。企業の不祥事があると、会社全体の存続が脅かされかねません。

経営管理陣は、窓口で通報することを本当に望んでいますか？

はい、望んでいます。従業員の皆さんは、当社内で起こっている出来事の良い面も悪い面も把握しています。懸念の原因となり得るような活動を最初に認識することがあるかもしれません。従業員からの

通報により、当社とその人材に及ぶ可能性のある悪影響を最小限に抑えることができます。また、積極的な意見を提案することで、企業文化や業績の向上に寄与する事項の特定につながる可能性があります。

これらの通報の行き先はどこですか？これらにアクセスできるのは誰ですか？

通報内容は、セキュリティ侵害を防止するために、倫理ヘルプラインの安全なサーバー上に直接登録されます。倫理ヘルプラインでは、違反の種別と当該インシデントの場所に基づき、当該通報の評価および調査(該当する場合)を担当する会社内の特定の者だけがその情報を利用できるようになっています。これらの各通報受領者は、そうした通報を極秘扱いで取り扱う研修を受けています。

このシステムはまさに誰かが私を監視している一例ではありませんか？

倫理ヘルプラインシステム(内部通報制度)とは、当社の理念全体にとって有意義な要素となることを熟慮したものであり、当社が安心・安全・倫理的な職場を保証することを可能にするものです。倫理的ジレンマに関する指針を求めたり、積極的な提案を行ったり、懸念を通報したりすることを皆さんには奨励しています。当社では、通報しやすい環境を維持するとともに、当社のコンプライアンス義務を満たすために、最善の通報ツールを慎重に選択しています。

通報に関するセキュリティおよび機密保持

会社のコンピュータから通報を送信すると、私の PC が接続する全 Web サイトを示したサーバーログが生成されてしまうというのは本当ですか？また、そのログにより私が通報者として特定されませんか？

倫理ヘルプラインでは、IP アドレスを伴った内部接続ログは生成・維持されませんので、PC と倫理ヘルプラインを結びつける情報を取得することはできません。業務用 PC で通報を行うことに抵抗がある場合には、倫理ヘルプラインの安全な Web サイトを通じて、業務環境外の PC(インターネットカフェ、友人宅などにある PC など)を使用することもできます。

自宅から通報しても匿名性を維持することはできますか？

自宅、隣人のコンピュータまたはその他のインターネットポータルからの通報であっても、安全性および匿名性は維持されます。倫理ヘルプライン制度では、インターネットアドレスが除去され、それが維持されることはありませんので、匿名性が完全に保持されます。

倫理ヘルプラインに提供する情報によって最終的に私の身元が明らかになってしまわないか心配しています。そうならないことをどのようにして保証できますか？

倫理ヘルプライン制度は、通報者の匿名性を保護するように設計されています。ただし、匿名性の保持を希望する場合には、通報者として、通報の本文内で誤って自身の身元を明かさないように注意する必要があります(例:「Jan Smith の隣にある私の作業場から...」、「私の 33 年間の...」)。

通話料無料のホットラインも機密扱いかつ匿名ですか？

はい、そうです。インターネットでの通報の場合に提供するのと同じ情報を提供するように求められ、その回答は聴取担当者によって倫理ヘルプライン Web サイトに入力されます。これらの通報は、伝達中、同等のセキュリティと機密保持の措置が適用されます。

自身の通報について身元を明かすことを望む場合はどうなりますか？

通報内には、希望する場合に応じて身元を明かすための欄があります。

ヒント&ベストプラクティス

非倫理的行為に関与している数人に気付きましたが、私に影響はありません。なぜわざわざ通報する必要があるのでしょうか？

当社が取る選択は、倫理的行動の推進です。どのようなレベルであれ、すべての非倫理的行為は、当社および貴方を含む全従業員に害を及ぼします。本来健全であった会社に対し、一見して害がなさそうな倫理の欠如が及ぼし得る悲惨な結果を理解するには、昨今の企業の不祥事で何が起きているかを考えればよいでしょう。したがって、不正や倫理的違反などについて知った場合には、それを通報することが当社の行動規範上の義務となります。

私が見聞きしたことが会社の方針の違反であるかどうか、あるいは非倫理的行為に関係するものかどうか分かりませんが、私には、正しくないことのように思えます。どうすべきでしょうか？

通報してください。倫理ヘルプラインでは、状況を正しく理解できるように通報を作成および提出する手助けをすることができます。確信がないからという理由で非倫理的な可能性のある行動を未検証のまま放置するよりは、害がないと判明するような状況であっても通報を行っていただきたいと考えています。

私の上司など経営管理者が違反に関与している場合は？通報を入手して隠蔽しようとしませんか？

倫理ヘルプラインのシステムおよび通報の受信については、関係被疑者には通知が行われなかったりまたは名前を挙げられている通報へのアクセス権が付与されないように設計されています。

通報の提出後にインシデントに関する重要なことを思い出した場合は？あるいは、私の通報に関して当社側からさらに質問がある場合は？

倫理ヘルプライン Web サイトからまたは倫理ヘルプライン・コールセンターを通じて通報を行う際に、独自の通報キーを受け取り、パスワードを設定するよう求められます。インターネットまたは電話を通じて倫理ヘルプラインに再度アクセスして、最初の通報内容に詳細を追加したり、会社代表者からの質問に回答したり、未解決の問題の解決に役立つ情報を追加したりすることができます。会社の質問に関しては、指定された期間内にサイトを再訪問して回答するようにしてください。こうして通報者と当社の間で対話が開始され、そこで諸状況が特定されるのみならず、いかに複雑であろうと、解決することも可能となります。この対話プロセス中も、引き続き匿名通報者の身元が知られることはありません。

こうした通報の追跡管理についても最初の通報と同様に安全ですか？

倫理ヘルプラインの通信は、すべて最初の通報と同様に厳格に守秘され、匿名性の保護が継続されます。

インターネットにアクセスできない場合でも通報することはできますか？

倫理ヘルプラインの通報は、インターネットにアクセスできるデバイスから提出することができます。インターネットにアクセスできる環境があれば、どこからでも利用することが可能です。公立図書館を含む

多くの公共の場所には、インターネットに接続されたコンピュータが設置されています。アクセスできない、または難しいと感じる場合には、倫理ヘルプラインに電話することができます(通話料無料・24時間 365 日対応)。